

# 浦安とみおか川柳会

## 11 月例会結果

場 所：美浜公民館 2 階第一会議室

日 時：令和 3 年 11 月 9 日（火）

1 3 時 0 0 分～1 5 時 4 5 分

講 師：佐藤青樹

出席者：塩見和昭、谷口勝、長谷川智、

三浦みちえ、森山裕子、山口しだれ、

山口昇柳、大西旅人

### 課題「とぼける」・互選

講評 \* 佐藤青樹

#### 「6点」

都合よく記憶が消える認知症

勝

都合よく記憶が消えるのは認知症ではなく、認知症の振りをしていると解釈すると、面白くできた句。

#### 「5点」

サギ電話とぼける術がうまくなり

旅人

一読明快の句。

#### 「4点」

不都合なこと補聴器のせいにする

順

絵が見え、面白くできた句ですが 参考：補聴器のせいになっている不利なこと などとすると、リズム感はよくなるのでは。

アイシテルなど今もいうボケ亭主

旅人

絵が見え、面白くできた句ですが、 参考：愛してゐるとボケたか定年後 などとすると、リズム感は良くなるのでは。

同じ話初めてですとボランティア

昇柳

句意は分かれますが、同じ話をする背景が見えないのでは。参考：救援の自慢始めるボランティア などとすると、絵が見えてくるのでは。

#### 「3点」

個を覗く質問責めにしらん顔

しだれ

この句の「個」は「自分自身」のことでしょうか。参考：プライベートにつき記者には知らん顔 などとすると、絵が見えてくるのでは。

#### 「2点」

とぼけてもカメラは見てたその現場

裕子

一読明快の句。参考：とぼけても監視カメラが物を言い などはいかがでしょう。

詰め寄られ記憶はないとむく白目

和昭

一読明快の句ですが、参考：詰め寄られ記憶はないと白目剥き ではないでしょうか。

皿を割り孫は横向きテレビ見る

勝

絵が見え、面白くできた句。

貸した金ご好意などと惚けられ

裕子

絵が見え、一読明快の句。

嬉しさをとぼけ通してサブプライズ

智

句意は分かれますが、参考：嬉しさをとぼけ最後に驚かせ などはいかがでしょうか。

責任は秘書にとらせる永田町

裕子

一読明快の句。

研磨機がこれは無理だと脳の錆

みちえ

上五の「研磨機」は、例えば、難しい問題を解けぬ自分自身のことなのか、教えている人が教えられている人の事をいつているのか、どちらでしょうか。参考：難問へ錆びつく脳が無理という などはいかが。

課題「とぼける」・互選 続き

知っているが教えたそうな君立てる しだれ

一読明快の句ですが、リズム感を勘案し、参考：知  
つてるが教えたそうな君を立て などはいかがで  
しょうか。

嘘をつき素知らぬ顔の議員達

勝

一読明快の句。

「1点」

歳聞かれさば読む答え老獪に

智

この句、下五の「老獪に」が少々気になるのでは。  
参考：歳聞かれザーマスちつとサバを読み など  
はいかがでしょうか。

台所好きが私の呆け防止

みちえ

絵が見え、一読明快の句。

肝心な話題を反らす世慣れ人

しだれ

下五の「世慣れ人」が若干苦しいのでは。参考：肝  
心な話題を反らす狡い奴 などはいかがでしよ  
うか。

夫婦漫才ボケ役が二人いる

旅人

「老夫婦のどちらもボケ役のように噛み合わぬ話  
をしています」という句でしょうか。参考：ボケ役  
が二人のように老いる父母 などはいかがでし  
ょうか。

「選外」

黒塗りの目立つ文章の報告書

この句の中八では、また、中八の「文章」と下「報  
告書」がダブっているのでは。参考：村度へ官吏黒  
塗り出してみせ などとすると、絵が見えてくるの  
では。

飲み会を仕事とかわしふて寝する

絵が見え、面白く出来た句。

山の嵐どこ吹く風と煙にまく

句意が良く分かりませんが、いかがでしょうか。

形勢不利話を混ぜて知らん振り

句意は分かりませんが、参考：形勢不利要らぬ話  
を混ぜ返す などはいかがでしょうか。

難問をバトンタッチで切り抜ける

句意は分かりませんが、絵が見えにくいのでは。

参考：事務方へ難問答えささせて逃げ などはいか  
がでしょうか



【溜り場】時実新子（ときざね しんこ：1929～2007）

田口麦彦編「三省堂現代女流川柳鑑賞辞典」で時実は、「（川柳は）読者即作者、作者即読者という韻文の宿命に加えて、一人の選者が全権を握る場が多い川柳界では選者養成が急務である（合点法が必ずしも佳句を得ず）。川柳界への女性のなだれ込み、その台頭に、もしも'87 ベストセラーとなった私の「有夫恋」が少しでもシゲキになったら、うれしい」と述べている。すなわち時実は第一に川柳の価値判断の妥当性を問い、第二に時実の著作が契機となって多くの女性が川柳を始めたことに関して（柳人の先達として喜びつつも）、ある部分では（その安易でファッション的な接近に関して）幾ばくかの危惧の念も抱いていた気配もある。時実の若年時の作品は観念的、創造的で理智に富み、「突破する」力を持った清新なものであった。（「有夫恋」ではなく、むしろ）若年時の「新子 句集」や「月の子」に刺激されて川柳を始めたとする女性が多い。（旅人）

〔秀〕

妻を読む川柳読んだ妻怒る  
 パースデー今年は何が明日届く  
 人間の出方窺う新コロナ  
 ワクチンに負けじとコロナ変異する  
 無為の日日コロナで余命目減りする

勝 しだけ  
 みちえ  
 和昭  
 和昭

〔客〕

ぼくの未来いちばん若い日はあした  
 リハビリの友にエールを送る番  
 追憶の中に生きてる嫌な奴  
 鬱憤を他人に向けるエゴイズム  
 妻の愚痴聞けなくなれば張りが出ぬ

旅人  
 みちえ  
 勝  
 裕子  
 和昭

〔人〕

イヤリングに代わり補聴器を付ける

勝

〔地〕

お節介すぐに手が出る口も出る

みちえ

〔天〕

断捨離の山に学んだ無駄遣い

裕子

「月の子」新子自選集」（現代川柳選1 時実新子 たいまつ社 1978年）…発行部数がわずかであったこともあり、当句集を読むことは現在、容易ではない。昭和29～52年の間（作者25～48歳）の作句、約800句を掲載。以下はその一部。

- ・ 髪に挿す悲願のごとき珠ひとつ
- ・ つらなつてわたしを去つてゆく電車
- ・ 嘘を聞く暗さが実に有難し
- ・ 背信の夜明けの闇のその重さ
- ・ 山は照る希望というはあのような
- ・ 恋成れり四時には四時の汽車がでる
- ・ 秘すことは重し真つ赤な月が落ち
- ・ 何と静かな孔雀の羽根の死の在りか
- ・ お前たまたま蜘蛛に生まれて春の中
- ・ 私のように泣いて下さい仏さま
- ・ 妻をころしてゆらりゆらりと訪ね来よ
- ・ この世のことはこの世で終わるバス走る
- ・ 誠実なハンカチーフが落ちている
- ・ 夜と朝のあいだに一つ割る茶碗
- ・ さくら咲く一人ころして一人産む
- ・ 木に殺意あり花が咲き花が散る
- ・ 頭痛して紫の書が棚にある
- ・ 雨がやんで人骨のまだ熱き灰
- ・ 骨肉のがんじがらめよ鎌の月
- ・ 姉の背と瓜ふたつなら姉を斬る
- ・ 嫌い抜くために隙なく粧いぬ
- ・ 人や憂し鰯はザルに溢れ居て
- ・ 飢えて死ぬ金魚狂うて死ぬ金魚
- ・ 通過駅あなたの去つてゆく速度
- ・ 切符買う未来うつすら見えてくる
- ・ たましいを撫でてやる日のうす曇り
- ・ 暗転の朝日は骨を貫きぬ
- ・ なわとびに入つておいで出てお行き
- ・ 外は晴れだろうと思ひ死んでゆく
- ・ つきあつてゆくと愛かなてんと虫
- ・ 誰も知らぬ小屋に灯を入れ一夜死ぬ
- ・ 逃亡の膝のファール昆虫記
- ・ また逢う日まで残りの嘘を大切に
- ・ 川底の男を一人抱き起こす
- ・ 憎いあいつが生きている春のおぼろ
- ・ しゃれこうべその真白き歯愛しみぬ
- ・ こざつぱり乾いて虫の天命よ
- ・ 水枕ひとつの嘘を守り抜く
- ・ 天に一人地に一人一合の飯拝む
- ・ どちらかがあしたは逃げる靴二足

課題 「鵜呑み」・二人選 塩見和昭選

「秀」

入門書鵜呑みのゴルフ百きれず  
君がいう事を信じて群れにいる  
上長の指示を鵜呑みのイエスマン  
オレオレを老いの電話が鵜呑みする  
妻の愚痴大口開けて鵜呑みする

「客」

空腹に鵜呑みした恋成就せず  
おれおれの情に財布持ってかれ  
宣伝を信じ始めたダイエット  
占いを信じ王子を待っている  
鵜呑みしたカメラに余命知らされる

「人」

詰め込んだ知識一夜もち越せず  
知らぬ間に洗脳されるワイドショー  
わだつみへ少年兵はまっしぐら

「天」

(自句) 受け売りの知識脆くてボロが出る  
うまい話かぶりついては下痢をする  
イメージを売って買わせるコマーシャル

課題 「鵜呑み」・二人選 森山裕子選

「秀」

辞めるより休会お得鵜呑みした  
宣伝を信じ始めたダイエット  
入門書鵜呑みのゴルフ百切れず  
妻の愚痴大口開けて鵜呑みする  
詰め込んだ知識一夜もち越せず

「客」

うまい話かぶりついては下痢をする  
占いを信じ王子を待っている  
おれおれの情けに財布持ってかれ  
上長の指示を鵜呑みのイエスマン  
結論を信じ鵜呑みの火傷する

「人」

知らぬ間に洗脳されるワイドショー  
受け売りの知識脆くてボロが出る  
鵜呑みしたカメラに余命知らされる

「天」

(軸) オレオレを老いの電話が鵜呑みする  
実印が鵜呑みしている契約書  
わだつみへ少年兵はまっしぐら

【掲示板】

1. 1月例会のお知らせ

- ・日時 : 令和4年1月11日(火)  
13時00分~16時00分
- ・場所 : 美浜公民館第一会議室
- ・課題「息切れ」 : 互選 3句
- ・課題「競う」 : 二人選 3句
- ・自由吟 3句

2. 「犬吠」11月号掲載会員句(掲載順)

- 宣言下渋谷の街の蟻となる(勝)
- 友が逝く子息は母を知りたがり(みちえ)
- 虫の音へ猛暑に勝てた誇り湧く(しだれ)
- 八十路だがりニア乗るまで生き延びる(昇柳)
- 自助共助空襲の日をふと思う(裕子)
- 二兎を追い夢だけ帰る里の門(和昭)
- うるさいと思っても聞く妻の愚痴(順)